

花と緑の情報をお届けします。

Green Sketch

クリーンスケッチ

2005
WINTER

26

Take Free

ご自由にお持ちください

あだしりいこ
新潟

特集

●公園管理シンポジウム

みんなで公園を育てよう！

公園利用とマナー



植物に親しむ 5

「冬の寄せ植え」をご紹介します。

●花と緑のお悩み相談室 6

にいがた四季の散歩道 ... 7

見附・神林の巨木をご紹介します。

●読者の広場 8

●緑花センター掲示板 9



財団
法人

新潟県都市緑花センター

にいがた「緑」の百年物語に参加しています。

緑百年物語
100
GREEN 100
Niigata



みんなで公園を育てよう!

～公園利用とマナー～

コーディネーター 本日のテーマは「公園利用とマナー」です。お話しさせていただくのは、私も含め、みなさん一般の利用者です。日ごろ公園を利用して、お気づきの点についてお話しただきたいと思っています。
まず、パネリストの方々の活動の様子を（紹介下さい）。

桑原 私は、この公園の近くの山湯小学校に勤務しています。学校では、総合学習などで利用しています。公園に行ってみようと考えた子供たちは、自分達の地域にある公園はどんなふうになっているのかを調べることから始めます。そして公園をどうしていったらいいかを考えるようになるのがねらいです。

公園は何のためにあるのでしょうか？
やすらぎを与える場所、レクリエーション、防災…。さまざまな機能をもっています。
公園は、オープンスペース（※1）、すなわち誰でも利用することができる場所であり、誰もが快適に使いたい場所でもあります。ところが今日、オープンスペースであるが故のさまざまな問題を抱えています。実際に都市部での公園では、利用上の苦情や、マナーに関する問合せが特に多く寄せられます。
そこで、県内の公園を管理している緑花センターでは、今年度の「公園管理シンポジウム」（※2）のなかで、**公園利用とマナー**について考えることにしました。
シンポジウムは、10月最後の日曜日（※3）、日ごろ公園を利用している方々をパネリストに招いて、新潟県スポーツ公園で開催しました。今号ではその様子を紹介します。

- ※1 広い意味では、公園・緑地・街路・河川敷・民有地の空き地部分など、建築物に覆われていない空間の総称。
- ※2 平成15年度に発足した、国、県、市の公園を管理する団体による公園管理連絡協議会をふまえ、緑ゆたかなまちづくりのため都市公園の環境を守るという目的のもと、公園の管理をメインテーマに開催していきます。
- ※3 シンポジウムが行われた10月31日は、中越大地震から一週間しかたっており、コーディネーター、パネリストのみなさんも、冒頭にお見舞いの言葉を述べられました。新潟市は、震源から離れていたものの、不安の残る生活のなか、開催にかかわってくださった方々に、誌面にて御礼申し上げます。

シンポジウムは、フルートの演奏で始まりました。秋空に柔らかな景色が響きました。演奏：新潟室内フルートアンサンブル



低学年の生活科の学習では、地域を好きになるために、まずそこで遊んだり活動したりするなかで、四季折々の変化を気づかせるように働きかけ、自分達とのかかわりを深めていきます。先週は秋探しに参りました。
また、全校で1年生、6年生がグループになって年に1回、鳥屋野潟公園で活動しています。
村尾 20数年前、鳥屋野潟は、流れこんだ生活排水や捨てられたゴミで、す



パネリストの方々の活動の様子や、当財団の事業、管理する公園を紹介するパネルを展示。（ハーフェティの試飲コーナー）



▲NIIGATAスプリングフェスティバルの様子。4月、新潟県都市緑花フェアと併催されています。

Panelist

●パネリスト——**村尾健治**



新潟市南商工振興会会長

鳥屋野潟一周ゴミ拾いウォークラリーをきっかけに活動を始め、現在は、毎年春にスポーツ公園でNIIGATAスプリングフェスティバルを開催している。

松田 このスポーツ公園で最後に整備された、ながたの森というエリアがあります。その整備のありかたについて考えるワークショップが、ながたの森活動会の前身です。そのワークショップでいろいろ提案されたものがある程度実現して、それを出来る範囲で維持管理をしていくという活動をしており、今日の午前中も、チューリップ数千球を植えました。
（公園内の人工的な）せせらぎに自然環境のパロメーターと言われているホタルを放

りを始めました。
その後ウォークラリーを主にし、スプリングフェスティバルを行っていました。このスポーツ公園が出来ましたので、会場をうつし、新潟県都市緑花フェアと併催しています。今では3万人以上の入場者でにぎわいます。地域の人々、子供たちのプラスバンドなどの発表の場でもあります。
石田 新潟西地区にある平島公園の管理をしています。平島公園は、鳥屋野潟公園の何十分の一です。そのひとつかみをなんとか地域の人達と交わってやっていこうと思っています。子供たちにたくさん遊びに来てもらいたい。孫を連れて一緒に手をつないで公園で走りまわっている姿を見ると、なんとも言えません。（※平島公園での活動については、「活動報告」を「らんく」をご覧ください）

ごく汚れていました。そこで、8人ほどのメンバーでゴミ袋を持って鳥屋野潟を1周するウォークラ

●パネリスト

松田暢夫

(まことのおぶ)



ながたの森活動会

スポーツ公園の東側園地の計画ワークショップ参加。公園完成後も「ながたの森活動会」として維持管理などを行う。自宅も鳥屋野湯公園に程近く、プライベートでも多く利用している。



▲スポーツ公園内での自然観察会(ながたの森活動会)

したいというプロジェクトもあり。巻町のホタルの里から卵を学校や地

域の各家庭で孵化させまして、今日それを半分くらい放しました。私自身は、15年前に越してきたのですが、整備のときからこの公園を見守ってきて、家族でも利用しました。多目的広場があって、子供たち、家族でサッカーもできるし、ボールも投げられます。それと自然。新潟もほとんど都市化されていますけども、ここに来れば自然に触れ合えることができます。子供たちも、遊びの中でいろいろなもの学んだと思っています。



▲チューリップの球根植え付け(ながたの森活動会)

■犬の放し飼い

現在は、学校で利用する時間帯が昼間なので、利用上の問題というのがあるのか教えていただけると、参考になるかなと思います。

松田 自身は犬を飼っていませんが、犬は大好きです。この公園は、犬の散歩には絶好だと思っています。しかし、最近減ったとはいえ放し飼いが多いですね。また最近では、引き綱が伸びるタイプもあって、犬が飼い主からはるかなたで自由に遊んでいるのを見かけますが、これでは、放し飼いと変わらないと思っています。放し飼いをすると、見えな

い所でおしっこをしたりフンをしたりすることもありますが、中には犬が苦手な人もいらつしやるでしょうし、放し飼いはしないでいただきたいです。

公園利用上の問題

コーディネーター 後ろで大きなコイがはねたり、ハクセキレイの鳴き声が聞こえたりして、野外でやるのはむずかしいと思う反面、

村尾 犬については、非常にマナーよく飼っていらつしやる方がほとんどだと思います。ただ、その犬がどれくらい大きくなるかというのを考えずに、結局自分では飼いきれない人がいるようです。

コーディネーター 公園の中、あるいは町の中でも犬は放し飼いにしてはいけないというのが、条例で決まっています。とくに、小さいお子さんを連れてくるお母さんにとっては、小さい犬でもこわく感じることもあるでしょう。

活動報告

「緑のまちづくり」～新潟市平島公園～

平島公園は、関屋分水整備の頃(※1)、平島地区の宅地造成に伴い、新潟市の街区公園(※2)として整備されました。昭和47年3月に完成し、坂井輪地区の一時避難所に指定されています。そして、16台の遊具を備えた児童公園でもあります。

私たち平島一丁目自治会は、新潟市からの委託を受けて、10年前からこの公園の管理を行っています。公園の管理と地域のみなさんの交流を目的として活動しています。そして、公園をとりまく活動には、平島一丁目自治会、平島公園クラブ(※3)、地域のボランティア、なかよし子ども会などの団体がかかわっています。ラジオ体操、花火大会、デイキャンプなどの子ども会の活動の拠点となっています。

毎月第1、第3日曜に活動を行い、現在は毎回20人前後が参加しています。広場には、芝生ではなく雑草が生えています。芝生ははだして走るとチクチクしますが、雑草はやさしく、痛みありません。この雑草をいい状態に保つために、こまめな管理が必要です。10年前から除草剤の使用をやめました。作業の内容は、草取り・草刈りを中心に、石拾い、花・球根植え、水やり、落ち葉集めなどです。取った草は、公園の隅に重ねておいて堆肥にしています。この堆肥は、球根を植えるときの土づくりなどに使っています。

また、これからの時期は落ち葉あつめが大変です。特にケヤキの葉が1ヵ月がかりで毎日らはらと落ちます。それを毎日ピンピラ(※4)ではいて山にしておきます。そして、11月末に各自で持ちよった芋を焼いて食べます。作業の後に芋煮会やとん汁サービスがあるときもあります。

幼稚園の子どもたちが遊びに来たり、小中学生が広場でサッカーなどを



▲活動の様子(草取り)

して遊んだりしているのを見ると、きれいにしておかなければならないなあ、と思います。また、子どもたちが自由に安全に遊べるように、見ている大人たちが声をかける、声がけ運動も行っています。

このようにして、楽しくきれいに、安全にしておこうとするなかにも、犬を放したり、自転車で走ったりするなどのマナー違反があります。犬を放した人に尋ねると、犬だって走り回りたいたらうからいいじゃないかという答えが返ってきました。ところが、犬が公園の中で走り回ったりふんをしたりすると利用する人が困ります。また、公園内では思い切り走る自転車はたいへん危険です。ぜひマナーを守ってください。そして、公園をきれいにしましょう。きれいにするまでいなくても、汚さないでいただきたいと考えています。

私たちの公園は、2,000坪、およそ6,600㎡あります。プラタナス、ケヤキ、イチヨウ、ウメ、ツツジなどの木々に囲まれ、地域の人々の宝です。みなさんにきれいだなと言われるように、ずっと大事にしていきたいと思っています。早春には60本の梅が見頃になります。みなさんもぜひ立ち寄ってください。

(平島一丁目自治会会長・新潟市公園愛護連絡協議会坂井輪地区代表理事 石田宗雄さん)

●平島一丁目自治会/平成6年より新潟市からの委託を受け、平島公園の管理を行っている。その活動が評価され、平成14年に「みどりの愛護」功労者国土交通大臣団体表彰を受けた。

※1 関屋分水/信濃川の水を日本海へバイパスし、新潟を洪水から守る役目を果たす。昭和30年代後半に計画され、1972年(昭和47年)に通水した。
 ※2 街区公園/おおむね500m四方に居住する人が利用する、1か所あたり面積0.25haを標準として配置される公園。児童公園よりも幅広い利用を意図し、この呼び名となった。
 ※3 平島公園クラブ/平島公園の緑化と環境整備を通じ、児童の健全育成と地域づくりを図る。
 ※4 ピンピラ/落ち葉などを集める餅手。

コーディネーター 将来計画のなかできちんと

飼ってほしいというご指摘ですね。ミドリガメなどでは、大きくなつて手に負えなくなる

と公園の池に放してしまう事例もあります。村尾 管理者が気をつけていても、公園では知らないうちに放されています。結局、個人の良心にかかっていると思います。

■自転車の乗り入れ

松田 この公園では、条例で自転車を乗り入れてはいけなと決められています。しかし、問題は乗ること自体ではなくその状況に応じた乗り方をしないということではないでしょうか。便利で環境にやさしい乗り物なので、公園が自転車乗り入れ禁止というのは行き過ぎではないかと思えます。子供たちが普通の道路では自転車に乗れないかわりに公園の中を走るのは、公園のもつべき機能でもあると思います。

しかし、危険であることには違いなく、例えば、アルビレックスの試合がある時などの混雑時に自転車に乗ることは非常識な行動です。公園の中にも、走っていい道路、いけない道路などのルールを設けることも必要だと思います。

この公園には、広い幹線道路から、乗り入れるとかわいそうだなという小道まであります。取り決めるは、管理者だけではなく、利用者の意見を聞きながら行うのがいいと思います。

コーディネーター サッカーの試合の時には、かなりの数の人が自転車で来られるでしょう。

松田 試合が終わった後、新潟駅に向かう歩行者と自転車の量はすごいですよ。帰りは自転車で乗らないで引いていきたいと思いますという啓発活動があるといいですね。ルールさえつくればいい乗り方が出来ると思っています。

そういうルールをつくる一方、駐輪場が問題です。試合などのイベントの際は、指定されている所をさらに拡大をしたり、分かりやすく表示したりすることが必要だと思います。

コーディネーター 特に帰りはいつせいに動くので、たいへん危険だということ、駐輪場が

不足する可能性があるということでした。

設備の話になってきましたので、公園を管理している新潟県都市緑花センターの大塚理事長さんにコメントをいただきました。

(大塚) 国の法律あるいは新潟県の都市公園条例では、基本的に公園区域は自転車乗り入れ禁止になっています。ところが、高校生は通学路として近道なので進行していきます。また、足の弱い人は自転車で公園を散歩します。私も巡視はしていますが、足が弱くて乗っている人を注意するのめいがかかなくなっているのも事実です。それでは、こういう人は注意した、こういう人には注意しないというアンフェアさが生じてきます。しかし、いつまでもダメばかりでは、それこそダメだろうと思えますので、部分的に自転車乗り入れ許可区域を設けて、みなさんに利用していただきたいと考えており、関係機関の方とも相談をしているところで、駐輪場の整備もあわせて、多少時間はかかるかもしれませんが、努力してまいります。ご理解いただければ幸いです。

■公共物の盗難・破損

村尾 公園のトイレはきれいに管理されていますが、そこにはつてある鏡がいつの間にか割られていたり、もちさらされたりで結局つけていないところもあります。公園に備え付けのトイレレットペーパーを何ロールも持つていくこともあるようです。その一部の人のために、非常に多くの人に迷惑がかかっていることが、現状じゃないかと思えます。

コーディネーター トイレレットペーパー、鏡を盗むということ、窃盗罪にあたります。

石田 平島公園のトイレでは、上から下まで大変な落書きをされたことがあります。そして小さい鏡、ガラスをみんな割っていくこともありました。トイレは大

平なところですから、いたずらをしない

でいただきたいと思えます。

コーディネーター 地震や台風など災害時に、公園のトイレはとても大切になります。公共のものを大事にしてほしいと思えます。

会場からの声

外来種の問題

(会場より) 最近は魚や虫なども外来種の移入が騒がれています。公園という、洋風の並木ばかりで余分な花はない。外来種をどんどん入れていく、これもいいでしょうが、日本のいろいろな樹木も非常にいいものがあります。公園の特色をどんな風にだしていいかという話をうかがいたいと思えます。

コーディネーター 外来種が植えられているのはどうかということ、あるいは公園に外来の動物を放しに来るといようなことでもあります。すが、いかがでしょうか。

松田 それ以外の物を駆逐する、たとえばブラックバスや、セイタカアワダチソウなどは好ましくありません。しかし、新しい公園空間を創出するということも一つの都市公園の役割なのです。ケヤキやイチヨウなどの素晴らしい並木も、素晴らしい空間をつくり出しているのです。それはそれで良いのではないかと

思っています。また、とくに水質・環境のパロメーターとして注目され、公園に放流したホタルは源氏ホタルですが、この一帯にいた

のは平家ホタルではないかとも言われています。元々あったもののへこのこだわりも意味のあ

るのですが、新しいものを取り入れることも必要です。

桑原 こちらで子供たちを対象にした催しものがあった時に、何種類の植物があるかお聞きしました。本当にいろいろな植物が植えられていて、勉強することができて子供たちにはいいのではないかと思えました。さまざまな樹木があることを学びながら、自分達も関わって行けるような場があるといいのかもしれないと思えます。

村尾 この公園は、鳥屋野潟を中心に整備されています。やはり自然に親しむようにしていくと、どうしても自然と人間の共生というものを考えなくてはなりません。自然と人間とがうまく付き合える様な状況をつくっていく中で、残さなければいけないものは残し、また足りないものは足すという形で、よくなっていけばいいと思えます。


不法駐車

コーディネーター 公園ですから、公共空間に目新しいものを紹介して行くという役割も一つあるのではないのでしょうか。

(会場より) 地域の住民として気になるのは駐車場の問題です。ラ・ピアンタの近くに公園への入り口がありますが、そこへ通じる車道が直角に曲がっています。あの辺りにびっしり車を止められるのは問題ではないかと思えます。アルビレックスの試合がある日は完全に規制していますが、土曜、日曜などに少年サッ

Panelist

●パネリスト 石田宗雄 (いしだむねお)



新潟市公園愛護連絡協議会
坂井輪地区代表理事

平島一丁目自治会として、新潟市より
平島公園の管理を受託。公園維持管理
を中心に、さまざまな活動を行う。



会場のみならずにもご意見をいただきました。

Coordinator

●コーディネーター **高橋 正良**
(たかはし まさよし)



「NPOにいかた水辺の会」世話人
(財)新潟県都市緑花センター
花と緑のアドバイザー

会社の近くにある、新潟市松園のじゅんさい池公園を多く利用。また、専門学校の講師として、鳥屋野潟公園を実習時に利用。

カーの試合などの大きな催しがあると、車が道路に止められています。

松田 子供たちの大会に、「ご家族が車で来ます。駐車場がちょっと遠い所にあるので、運動広場に近い所に止める方がいて、交通の支障になっています。公園に駐車場がちゃんとありますし、相乗りなどでなるべく自動車の台数を減らす工夫が、その大会あるいは親御さんサイドでも必要だと思います。

■子供のいたずらを見守る公園？

(会場より)新潟の牡丹山にある、ポプラ公園に関わっています。

地域の子供たちが健康に育つ為には、ストレス発散の場所が必要であり、公園は大事な場所だと思っています。他の公園には、近所の家のガラスを割るから野球をしてはいけないなどと書いてありますが、割った子供たちもりっぱな人間になっています。みんな悪い事をしてあまり注意せずに育っています。影で見守って本当に危険なことだけを注意しています。

松田 子供たちのいきいきとしたイメージが目につきます。ルールと裏腹な関係にあるものかも知れませんが、子供は好奇心があって、いろいろな事をやってみたい、そういう欲求を満たすのも公園の役割の一つだと思います。昔は広場もあり、結構自然も多かったけれども、今は

少なくなっています。公園で展開できるかどうかは、これから考えていかなくてもいいかもしれませんが、すごくいいヒントになると思います。

■マナーよい利用への提案

コーディネーター さまざまな公園利用上の問題が挙げられました。どうしたらなくしていけるのか、提案あるいはすでに行っていることをご紹介下さい。

松田 難しい問題だと思いますが、子供の頃からの教育、学校教育・家庭教育・地域の教育が大切です。公共の場におけるマナー、家と外との区別があると思います。

桑原 学校で利用する場合は、例えばお弁当を持ってくれば、ゴミを捨てる時間をつくることや遊ぶ時は木の枝を折らないように気をつけて、などと注意します。学校以外の場面や、大きくなった時にも、自分達でそれが守れるように、日頃から意識として持たせていくのが大事だと思います。

高速道路のパーキングなどに、家庭のゴミを置いていくという話も聞いたことがあります。結局自分さえ良ければという気持ちの人がいるようです。公園のマナーだけでなく、世の中全体の公共の場の使い方に関わっているのかなと思いました。

村尾 公園の管理者から、マナーよく使ってい

る人に優良利用者認定ワッペンなどの贈呈があると良いと思います。そうすると、さらに公園をきれいにしようとか、違反者に注意してあげようという気持ちもわいてくると思います。

■違反者への注意という問題

コーディネーター 実際に、違反者に注意して不愉快な思いをされたような経験はありますか。

石田 注意して、「分かりました」という言葉がすぐに得られず、残念に思います。

村尾 複数で注意するのが一番いいと思います。一人で注意するというのは勇気ある行動ですが、暴力的な人もいるかもしれません。優良利用者認定の制度があればグループ意識も生まれると思います。

コーディネーター 警察や管理者に出てきてもらわなくても、我々利用者の方で意思表示できるような権限や手段が何かあるといいですね。

(会場より) 私どもの所でも、違反者に注意すると、何の権限があつてそういうことを言うのかと言う方がいらつしやいます。小さい違反については、注意の権限のおすみつきをもらえば、堂々と注意できるようになると思います。

コーディネーター 行政と管理者と市民と一緒に、マナー違反を無くしていける仕組みづくりが必要ですね。

※10月31日に開催したシンポジウムでの発言を抜粋・編集したものです。

Panelist

●パネリスト **桑原 裕美子**
(くわはら ゆみこ)



新潟市立山潟小学校教諭

勤務する山潟小学校の学区内に鳥屋野潟公園があり、総合学習や生活科の学習の中で公園での活動を取り入れている。

熱心にきき入る
会場のみなさん。



現代では、都市の快適な生活を保つためには、オープンスペースの整備は不可欠であり、その充実が求められています。こうした要望の一方で、パネルディスカッションの内容からもわかるように、さまざまな問題が生じています。利用形態の多様化もあり、あらかじめ定められているルールさえ守れば、快適な環境が保てるとはいえませんが、公園を利用していく中で、**社会的なマナーを守りながら生まれるもの**でもあります。それは、公園だけでなくあらゆる公共のものについていえることです。

公園を管理する当財団にとって、公園を利用するすべての人に快適な空間を提供することが理想です。そのためにルールづくりと、ルールを守ってもらうための案内や指導が必要となります。そして、時代や要望にあったルールを行政に提案していくため、利用する人や市民の声を積極的に取り入れていきたいと考えています。

みなさんも、どんな公園が利用しやすく快適か、改めて考えてみませんか？

特集に関するご意見・ご感想は、綴じ込みのハガキもしくは、当財団HPの「特集に関するアンケート」にてお寄せください。



冬に咲く花

クリスマスローズ

を楽しむ

花の少ない冬、うつむき加減に咲く優雅な花、クリスマスローズ。雪の下で冬を越す強さももっています。今号では、クリスマスローズを使った寄せ植えをつくってみたいと思います。



一口メモ

クリスマスローズ (キンポウゲ科)

日本では、ヘレボルス属の植物全体を指していますが、ヨーロッパでクリスマスの頃から開花するのはニゲル種です。晩冬から春にかけて咲くオリエンタリス種などの園芸品種がよく出回っています。さまざまな花の色、形があるのも魅力のひとつです。

主な原産地は冷涼なヨーロッパで、落葉樹の林床に自生しています。



▲クリスマスローズの交配種

庭植えの植えつけ適期は秋。水はけがよいことと、冬から春に日当たりがよく、夏でできるだけ涼しい場所が適しています。根が深いので深く耕します。6月から9月に日陰にならない場所では、日光をさえぎる『寒冷紗』の設置が必要です。冬は土の凍結を避けるため、ワラなどで株もとを覆います。

鉢植えの植え替え適期は秋ですが、根詰まりしている株は冬でも植え替えます。庭植え、鉢植えともに、つぼみがあがってくる頃に古葉を切り取ります。

●切花で●

花が一番いい状態にあるのは、花粉が出始めた頃。この時期の花を生けるときは、お湯につけるなどして水揚げをしてください。花粉が出きった花は花色がやや劣りますが、長持ちします。

クリスマスローズを使った寄せ植えをつくってみましょう!

つくって
みよう!



1

ゴロ土を敷く

鉢底網（土もれ、害虫の侵入を防止）を置き、ゴロ土を2cmくらい敷きます。



2

培養土を入れる

鉢の3分の1くらいまで培養土を入れます。培養土に肥料が混合されていない場合は、元肥として緩効性化成肥料を混ぜます。



3

苗を配置する

植物をポットごと配置してみます。一方見（片方から見る植え付け方）なので、背の高いクリスマスローズを奥にします。



4

植え付ける

ポットからはずし、根をいためないように鉢土を少しほぐします。ウォータースペース（※）を設けます。



5

※ウォータースペース 水やりしたときに水や土があふれるのを避けるための、土から鉢の縁まで（2～3cm）のスペース。



仕上げる

全部植えつけたら、割り箸などの棒でつついて隙間を埋め、株が動かないようにします。株元にたっぷり水を与えます。

●使用する植物

- ・クリスマスローズ（ニゲル種）
- ・ビオラ
- ・リシマキア



●準備するもの

- ・鉢（7号～9号くらい）
- ・鉢底網
- ・鉢底土（ゴロ土、赤玉大粒）
- ・培養土（市販）
- ・土入れ、割り箸



クリスマスローズは、単独で植えても存在感があり、見ごたえがあります。株が幼いうちは、鉢での管理がおすすめです。大株になったものは、深めの鉢で楽しむか、庭に植えつけると良いでしょう。早春に咲く、草花や小型の球根植物との相性もよく、庭植えでは樹木の足元の演出に最適です。

クリスマスローズとスノードロップ▶



花と緑のお悩み相談室

●冬の鉢花管理のポイント

シクラメン、クリスマスカクタスやポインセチアなどこれから冬の室内に彩を与えてくれる鉢物も、毎年のようにすぐだめになってしまう例が多いようですが、種類によって多少の違いはあるものの、その失敗原因にはいくつか共通した点があります。

原因1●日光不足

新潟の冬で一番多いのは、温度にだけ注意が向いて、日光不足に気がつかないことが原因の失敗です。新潟では冬には晴天が少なく、日照量は東京の3分の1程度しかありません。“寒いと悪い”と温度にばかり気を取られていると、植物は光不足で同化作用が低下しているのに、高い室内温度によって養分の消費が増加し瘠せ衰えてしまいます。コショウランなどの高温性の種類を除いて、シクラメンをはじめとする大半の鉢花は日中18℃もあれば十分で、人間よりも寒がりませんが、普通の室内程度の明るさでは光が足りないものが多いと考えて間違いありません。ですから日中はなるべく窓際の明るいところへ置いてやるのが大切なのです。ただし窓辺は夜間の温度が下がる点には注意が必要です。

原因2●水管理

次に多い失敗は水管理で、土が乾かないのに日課のように水を

やって過湿で根を傷める例が多いようです。鉢は暖房機から十分離れたところに置き、葉に触ってみて少し柔らかくなってきたら、または土に触ってみて乾いていたら暖かい日の午前中にたっぷりやるのが要点です。底面給水式の鉢を除いて、受皿に水をためておくことは厳禁です。

原因3●虫の繁殖

もう1点は暖房が行きとどくことによって、冬でもアブラムシやカイガラムシが殖える例が多く見られるようになりました。早期発見早期駆除がなによりも大切です。

また咲き終わった花や枯葉の始末をきちんとし、病気が出ないように注意することなどが冬季間における鉢物管理の要点で、今一度チェックしてみましょう。

（県立植物園 花と緑の相談コーナー 専門相談員 片山芳宣先生）